

第 7 回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウムにおいてテニユア・トラック教員 椿 俊太郎（つばき しゅんたろう）総合研究センター特任助教らの発表が JEMEA ベストポスター賞を受賞しました。

「イノベーティブマリンテクノロジー研究者育成」事業テニユア・トラック教員 椿 俊太郎（つばき しゅんたろう）特任助教、平岡雅規准教授、上田忠治准教授、恩田歩武講師、東順一大阪大学特任教授らの共同研究の成果が 2013 年 9 月 2 日～4 日に東京工業大学にて開催された第 7 回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウムにおいて、JEMEA ベストポスター賞を受賞しました。

本発表では、マイクロ波エネルギーを効率よく吸収する材料を組み合わせ、マイクロ波照射下において緑藻類バイオマスの加水分解を促進する技術について報告しました。

タイトル；マイクロ波照射を用いた緑藻類バイオマスからのラムノース製造  
英文タイトル；Production of rhamnose from green algal biomass by microwave irradiation

著者；○椿 俊太郎、平岡 雅規、上田 忠治、恩田 歩武、東 順一（高知大学、大阪大学（東））

詳細についてはこちらをご覧ください。

リンク；<http://www.jemea.org/modules/news/article.php?storyid=220>

なお、本研究の一部は、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の平成 24 年度研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）探索タイプ“新規マイクロ波高活性化固体触媒の開発と、海藻バイオマスからのラムノース製造への応用”による支援を受けました。